

# 男女共同参画に関する 市民意識調査の結果を公表します

市では、平成22年7月15日から25日にかけて、市内の満20歳以上の男女1,500人を対象に、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。荒尾市で平成15年に策定し、平成20年に改定を行った「女と男いきいきプラン21（荒尾市男女共同参画計画）」の計画期間が平成23年で終了するため、現在新しい男女共同参画推進計画の策定が進められています。今回の調査は、この新しい推進計画の基礎資料になります。ここでは意識調査の結果の一部をご紹介します。

**質問**  
社会のいろいろな面において、男女は平等になっていると思いますか。

**結果**  
「家庭生活」「職場」「学校教育」「政治」「法律や制度」「社会通念・慣習」「地域社会」「全体として」の8つの分野を提示して、どの程度男女平等になっていると思うかとたずねました。

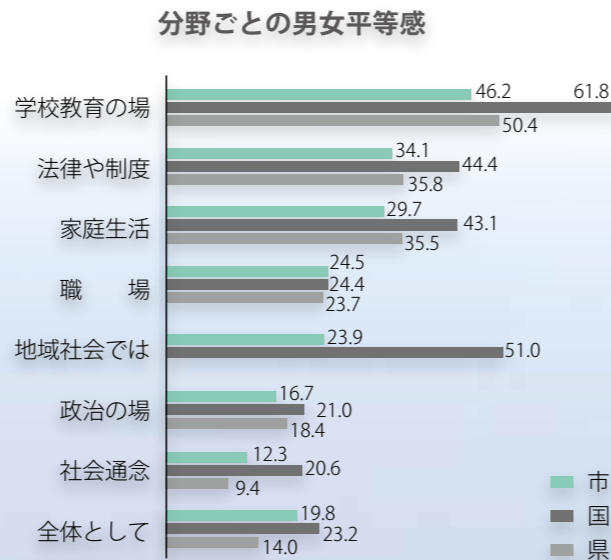
「平等である」と答えた人が最も多かった項目は「学校教育の場」46.2%ですが、全国調査の68.1%より22ポイント低く、県民調査の50.4%より4ポイント低い結果と成りました。

反対に最も低かったのは、「社会通念・慣習」の12.3%ですが、全国調査20.6%よりも8ポイント低く、県民調査9.4%より3ポイント高くなりました。

概観すると、「全国よりきわめて低位な平等感」と言われている熊本県民の意識特性と比べても、荒尾市は「さらに低い男女平等感」といえることができます。

●回答率

|         | 対象者(人) | 男性(人) | 女性(人) | 無回答(人) | 計(人) | 回収率(%) |
|---------|--------|-------|-------|--------|------|--------|
| 22年     | 1,500  | 332   | 410   | 20     | 762  | 50.8%  |
| 17年(前回) | 1,200  | 113   | 174   | 21     | 308  | 25.7%  |
| 比較      | +300   | +219  | +236  | -1     | +454 | ↑50.6% |



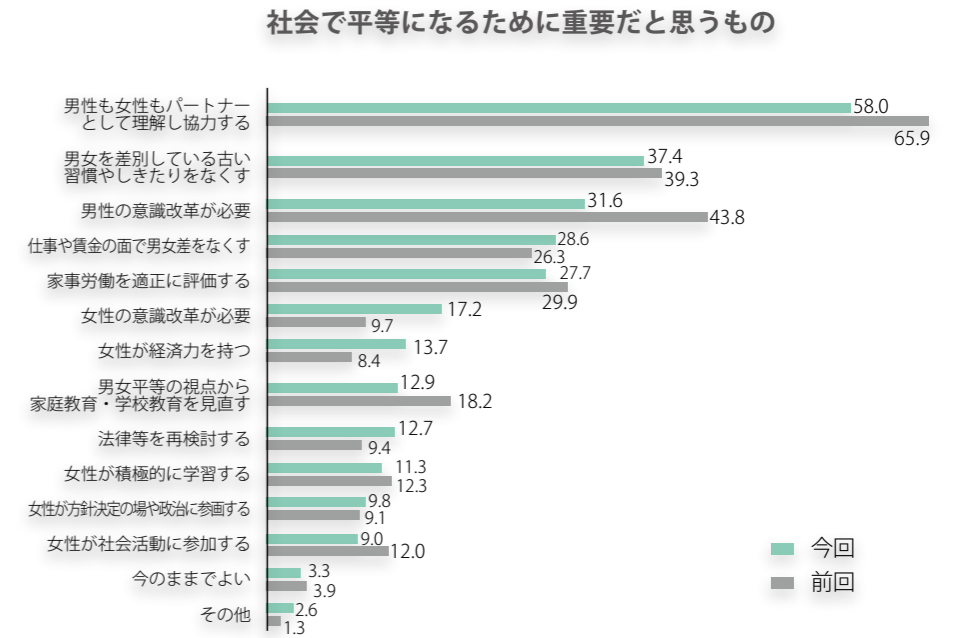
意識調査結果のすべての内容は、荒尾市ホームページをご覧ください。また、「男女共同参画に関する市民意識調査の報告書」など男女共同参画に関する各種資料は、市役所1階の情報公開コーナーや、市立図書館でご覧いただくことができます。

◀女と男いきいきプラン21と、2回分の市民意識調査の報告書

**質問**  
女性が社会のあらゆる分野で平等になるために、あなたが特に重要だと思うものを、3つまで選んでください。

**結果**  
「男性も女性も、パートナーとして理解し、協力すること」の58%が最も多く、「男女を差別している古い習慣やしきたりをなくすこと」37.4%、「男性の意識改革が必要である」31.6%、「仕事や賃金の面で男女差をなくすこと」28.6%、「家事労働を適正に評価すること」27.7%と続いています。

前回調査と上位3項目は同じですが、「男性の意識改革が必要である」が今回は前回より12ポイントも低下しています。



## 荒尾市の男女共同参画 今回の市民意識調査の結果を踏まえて

今年度策定する「第2次荒尾市男女共同参画計画（仮名）」には、国の動向を踏まえながら、この調査に示された荒尾市の「区域の特性に応じた施策（男女共同参画社会基本法第9条）」が求められます。私たちの生き方と働き方に関わる「多様な価値観」による自己選択を保障する社会システムの形成に向けた男女共同参画推進政策を進めていきます。